

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	イオンモール堺鉄砲町 新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府堺市堺区鉄砲町1番1の一部	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条の指定地域、南	平均居住人員	29,150 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,745 時間/年
建物用途	物販店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 竣工	評価の実施日	2016年2月25日
敷地面積	81,356 m ²	作成者	國本 暁彦
建築面積	33,914 m ²	確認日	
延床面積	115,588 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 71%
④上記+ 71%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
「堺の原風景」にこだわった店づくり、現代技術を用いた「新しい環濠」モデルと「水」の再生拠点づくり、地域の災害時の一次避難場所・防災基地としての店づくりを行う。「堺コミュニティ」を盛り上げる拠地をつくり、さらに、CO2排出量の削減により、地球環境保全に貢献する。	電気自動車充電設備を屋内駐車場に配置、津波災害時の被害を避け、EV車用電源を確保。 屋上に特高受変電設備、高圧変電設備を配置し、津波災害時のインフラ復帰後の対応を迅速化。	
Q1 室内環境 人感センサー、調光センサーによる点灯、調光。 全面的にF☆☆☆☆の建材を使用。 CO2制御を実施、全館禁煙とし、喫煙室を設置。	Q2 サービス性能 十分な天井高と階高を確保。維持管理への配慮。 制振装置。空調デマンド運転。 通信手段の多様化。天井設置空調機器、排煙口の補強等による地震に強いハードとする。	Q3 室外環境 (敷地内) 建物形状を大和川や南海鉄道に合わせた弧形とし、建物高さを極力抑えることで周囲のまちなみ・景観に配慮。 赤レンガ館を外装を生かして改修、歴史性を継承。「鉄のまち堺」の地域性を生かした金属素材を使用。
LR1 エネルギー 屋上駐車場を2層にし、日射負荷を低減する計画とし、下水処理水の高度複合化利用による水蓄熱システムを利用し省エネ化を図っている。ナイトバージ。太陽光発電。 BEMSによるエネルギー計測。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器。下水処理水を便所洗浄水、せせらぎ、補助熱源に使用。 電炉鋼材、再生ゴムチップ、再生クラッシュラン等のリサイクル材の使用。 QAフロア等による部材再利用可能性向上への取組。	LR3 敷地外環境 サービスヤードによる荷捌き用車両の駐車施設の確保。 市道三宝高須線の車線を増やし交通渋滞緩和に配慮。光害ガイドラインを満たす照明計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	イオンモール堺鉄砲町 新築工事 モール棟	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区鉄砲町1番1の一部、29の一部、17番3.5、37番4、40番2、42番2、43番1.3.12.13、44番2	3.4	S
	主用途/延床面積	物販店 / 115,588.00 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減		評価項目	スコア	評価点
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.1	4
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	1.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.3		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	4.5		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	5.0		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	5.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.6		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	4
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	5.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
電気自動車充電設備	屋内駐車場に配置し、津波災害時の被害を避けてEV車用電源を確保
特に配慮した事項	
屋上に特高受変電設備、高圧変電設備を配置し、津波災害時のインフラ復帰後の対応を迅速化。	